

勅授

二一

立案 昭和十七年四月  
決裁 昭和 年 月 日

爵位課長

宗秩寮總裁

宮内事務官

特命全權公使 阪本瑞男外二十  
七名 敍位ノ件

昭和十七年三月十二日裁可 三月十五日達  
臺帳記入 月 日 官報報告 濟

裏面白紙

176

特命全權公使阪本瑞男外二十七名

敍位ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十七年十二月十二日

内閣總理大臣東條英機



内

閣

裏面白紙

人外位第二六號

起案 昭和十七年十二月九日

裁可 昭和十七年十二月十二日  
施行 昭和 年 月 日

昭 和 年 月 日

内閣總理大臣



内閣書記官長

文

内閣書記官



特命全權公使阪本瑞男外二十七名  
叙位ノ件

内閣

三六

敍從四位 昭和十四年十一月十五日  
正五位 三年 昭和十七年十月二十九日  
陞敍高等官一等

正五位 特命全權公使

阪本 瑞男

右文武官敍位進階内則第三條ニ依リ謹テ奏ス

昭和十七年十一月二十七日

外務大臣

谷

正

之



外務省

東京 4943

179

裏面白紙

内閣外務省 第 〇 〇 〇 号

在京

叙從四位 正 昭和三十二年十二月一日  
五年 昭和三十五年六月一日 大使館參事官  
陸叙高等官二等 正 五位 官川 船夫

右文武官叙位進階内則第三條ニ依リ謹テ奏ス

昭和十七年十二月二日

外務大臣 谷

正

之



東京 4943

裏面白紙

180

一六三號

|     |   |     |            |
|-----|---|-----|------------|
| 同   | 同 | 同   | 敘從四位       |
| 正五位 | 同 | 正五位 | 昭和十七年十月十五日 |
| 位   | 同 | 位   | 五年以上       |
| 同   | 同 | 同   | 經過         |
| 同   | 同 | 同   | 昭和十七年六月十五日 |
| 同   | 同 | 同   | 陸敘高等官二等    |
| 同   | 同 | 同   | 昭和七年一月卅一日  |
| 同   | 同 | 同   | 陸敘高等官三等    |
| 同   | 同 | 同   | 北海道廳部長正五位  |
| 同   | 同 | 同   | 石井錦樹       |
| 同   | 同 | 同   | 北海道廳技師同    |
| 同   | 同 | 同   | 大塚徳雄       |
| 同   | 同 | 同   | 高田善藏       |
| 同   | 同 | 同   | 石原供三       |

右文武官敘位進階内則第二條ニ依リ謹テ 奏ス

昭和十七年十二月一日

臨時内務大臣事務管理  
内閣總理大臣 東 澤 條 三 英 十 機



内務省

めくれず

10576 10472 10567

181







内閣入省 三ノ方 九

從四位正 昭十七年五月一日 森田 昭十九年五月九日 公立高等女學校長 正五位 藤吉 喜一

石文武官從位進階四則第六 條二依り謹テ奏ス

昭和十七年 五月 廿日

文部大臣 橋田 邦彦



文部省

注  
叙正四位 昭和三十二年九月二十五日 滿五年 昭和三十六年九月廿七日  
叙從四位 以上 陸軍高等官一等 商省機械局長 佐藤 登太郎

右文武官叙位進階内則第二條依リ謹テ奏ス

昭和十七年十二月三日

商工大臣 岸 信介



商  
工  
省

内閣人事局 第六 號

叙正四位

昭和十二年十二月一日 經過年數

昭和三十六年四月二十二日

旅順工科大学長従四位安達 禎

禎

右文武官叙位進階内則第二條ニ依リ謹テ奏ス

昭和十七年十二月十一日

滿洲國駐劄特命全權大使梅津美治郎



關東局

めくれず

186



人勳祕第八二二號

昭和十七年十一月二十七日

外務大臣 谷

正之



内閣總理大臣 東條英機 殿

特命全權公使阪本瑞男紋位ノ件

特命全權公使阪本瑞男紋位ノ件別紙ノ通上奏致候間可然御取計相成度此致申准候也

主任者、人事課、笠原



(87)

外務省

(日本標準規格B5)



人勅秘第八二二號

昭和十七年十一月二十七日

外務大臣 谷

正之



内閣總理大臣 東條 英機 殿

特命全權公使阪本瑞男敍位ノ件

特命全權公使阪本瑞男敍位ノ件別紙ノ通上奏致候間可然御取計相成度此致申准候也

外務省

(日本標準規格B5)



裏面白紙

奉

人勳祕第八三二號

昭和十七年十二月二日

外務大臣 谷

正

之



内閣總理大臣 東條英機 殿

大使館參事官宮川松夫 敍位ノ件

大使館參事官宮川松夫 敍位ノ件別紙ノ通上奏致候間可然御取計相成度此段申進候也

主任者、人事課、笠原

188

12.3

付受

外務省

(日本標準規格 B5)

天

人勳祕第八三二號

昭和十七年十二月二日

外務大臣 谷

正

之

内閣總理大臣 東條英機 殿

大使館參事官宮川松夫 敍位ノ件

大使館參事官宮川松夫 敍位ノ件別紙ノ通上奏致候間可然御取計相成度此段申進候也



17.12.3 付受

裏面白紙

外務省

(日本領事規程第5)

内務大臣官房 甲第 一五十三 號

別紙 石井錦樹 外 參名 敍位ノ件

上奏書進達ス

昭和十七年十二月 一日

臨時内務大臣事務管理  
内閣總理大臣 東條英機



内閣總理大臣 東條英機 殿

内務省

4  
}



129

めくれず



裏面白紙

司法省人恩第一八〇六號上奏  
右執奏有之度候也

壹件

昭和十七年十二月一日

司法大臣

岩村通世



内閣總理大臣

東條英機殿

檢事船津宏外三名進位之件



190

(日本郵政規格B5版)

文 部 省

秘恩四四二號

高木市之助外十四名被位ノ件

右 上 奏 書 及 進 達 候 也

昭和十七年十一月二十一日

文 部 大 臣 橋 田 邦 彦



内閣總理大臣 東 條 英 機 殿

17.11.24  
付

191

裏 面 白 紙

文 部 省

秘恩四三五號

藤吉喜一叙位ノ件

右 上 奏 書 及 進 達 候 也

昭 和 十 年 二 月 廿 日

文 部 大 臣 橋 田 邦 孝



内閣總理大臣 東 條 英 機 殿



192

裏 面 白 紙

商工省機軸局長

佐藤 峯太郎 位階進叙ノ件  
別紙上奏書進達ス

昭和十七年十二月三日

商工大臣 岸 信介



内閣總理大臣 東條 英機 殿

商  
工  
省

17.12.4

193

官人第八〇號

昭和十七年十二月十一日

大東亞大臣 青木一男



内閣總理大臣 東條英機殿

安達禎叙位伴滿洲國駐劄特命全權大使上奏書  
右及進達候也

大東亞省

規格-B4 (東東3,185)

17.12.16

194

めくられず